

西南戦争

【せいなんせんそう】

1877年（明治10）西郷隆盛を中心とする鹿児島土族の反乱。征韓論により下野した西郷は帰郷して私学校を興したが、その生徒が西郷を擁して挙兵、熊本鎮台を包囲したが、政府軍に鎮圧され、西郷らの指導者は多く自刃した。明治初年の土族反乱のうち最大で最後のもの。以後の反政府運動の中心は自由民権運動に移る。西南の役。

- 幕末辞典 -